

# 令和2年度当初予算編成のポイント

## 今後の財政見通しを踏まえた予算編成

第2次八代市総合計画で掲げる、将来像である  
～しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市“やつしろ”～  
の実現に向けた財政の基本方針

### 1 今後の財政見通し

◇法人市民税の減収、普通交付税の合併算定替終了などによって、令和3年度まで一般財源が減少し、その後は減少を抑えられるものの、増収は期待できないものと想定されるため、行政需要を見通しながら歳出抑制を図るとともに、財政健全化を念頭に置いた歳入確保策に取組み、安定的な行政サービスの実現を図る必要があります。

### 2 八代市重点戦略【第2次八代市総合計画に基づく取組み】の推進

◇厳しい財政状況の下にあっても、しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市“やつしろ”の実現に向け、4年間（H30～R3）で特に重点的に取組む6つの戦略。

- (1) 農林水産業の更なる推進
- (2) 経済の浮揚と雇用・交流人口増による賑わいの創出
- (3) 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
- (4) 安全・安心で魅力ある都市を築く
- (5) 誇るべきふるさとを未来につなぐ
- (6) 市民意識調査結果による優先取組み

のそれぞれに位置付ける施策について計画的な取組みを進めていきます。

### 3 減少する一般財源に向けた取組み

◇予算要求にあたっては、全ての事業について見直せる箇所はないか、抜本的な総点検を実施します。

◇義務的経費及び数年ごとに行う経費を除く経費に対して、原則として、令和元年度当初予算における一般財源ベースの90%（シーリング率）を上限として設定します。

◇部内・課内におけるシーリング率以上の経費削減については、削減額の1/2を上限とし、新たな事業等への活用を認めるものとします。